

# 第1章 平塚市消防

消防総務課、消防救急課

## 第1節 消防概要

### 1 現 況

本市の消防体制は、消防本部に消防総務課・予防課・消防救急課・情報指令課を配置し、消防署は本署をはじめ、市内各方面に6出張所及び1分遣所をそれぞれ配置して、有事即応体制の確立を図っている。また、平成28年度には、本市北部地区を管轄する神田出張所を建て替え、消防活動拠点の充実・強化を図った。

\*1

これに対応する消防力として、平成29年4月1日現在、消防職員257人（実数）、消防車両等46台のほか、消防団本部及び市内各地域に19分団、消防団員357人（実員数）、消防車両20台を配備している。

近年の災害は、風水害をはじめとする自然災害が全国各地で相次ぎ発生、更には、逐年増加している救急出場など市民の消防に対する期待は、日々高まっている。このため、あらゆる災害を想定した訓練を積極的に実施し、消防の使命達成に全力をあげている。また、平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、本市からも消防隊等多数の部隊が緊急消防援助隊神奈川県隊として被災地に出場し、厳しい環境の中、懸命な救助活動にあたった。引き続き、地震等の大規模災害に対応するため、更なる消防力の充実強化が求められている。

これらの多種多様化する災害等に対応するため、消防救急無線の高度化と限りある電波資源の有効活用を目的に平成27年度には、消防救急デジタル無線（活動波）の整備を完了し、平成29年4月1日に、本市、大磯町及び二宮町で消防指令業務の共同運用を開始した。

\*1 実数に定数外職員（短時間再任用職員、出向職員及び新採用職員）は、含まない。

### 2 主要整備事業（平成28年度）

（単位 千円）

事業名	事業費	主な内容
消防署出張所等整備事業	258,415	神田出張所新改築工事 （設計意図伝達・工事管理業務委託、建築・機械・電気工事等） *2
消防指令センター整備事業	565,272	平塚市・大磯町・二宮町共同消防指令センター整備 （指令センター設備・電話放送設備）
消防車両整備事業	64,293	消防ポンプ自動車 1台 （海岸1号車更新）

\*2 神田出張所新改築工事（平成27・28年度継続事業）は、通次繰越分11,124千円を含む。

## 第2節 消防人員構成

### 1 定数及び実数

平成29.4.1現在(単位 人)

階級 区分	計	消防正監 (消防長)	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の職員
定数	268	265 (階級別定数なし)								3
実数*1	257	1	2	11	15	52	110	47	17	2

※1 実数に定数外職員(短時間再任用職員15人、出向職員3人、新採用職員3人)は、含まない。

### 2 消防職員配置

平成29.4.1現在(単位 人)

階級 部・署	計	消防本部	消防署 *2						
			本署	大野出張所	海岸出張所	南原出張所	神田出張所	金目出張所	旭出張所
計	257	48	77	21	24	12	21	21	33
消防正監(消防長)	1	1							
消防監	2	1	1						
消防司令長	11	4	7						
消防司令	15	7	7				1		
消防司令補	52	6	11	6	6	3	5	6	9
消防士長	110	23	32	9	10	6	9	9	12
消防副士長	47	2	15	5	7	3	5	3	7
消防士	17	2	4	1	1		1	3	5
その他の職員	2	2							

\*2 旭出張所に土沢分遣所の職員を含む。

### 3 消防団員

#### (1) 消防団員構成

平成29.4.1現在(単位 人)

階級 分団	計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
定数	385	1	4	19	19	38	76	228
定数内訳	385	1	4	各1	各1	各2	各4	各12
実数	357	1	4	19	19	38	76	200

## (2) 消防団員報酬状況

平成 29. 4. 1 現在 (単位 円)

手 当	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員
(年 額)	74,900	64,600	52,800	42,900	37,500	31,600	27,600

## (3) 消防団員費用弁償状況

平成 29. 4. 1 現在 (単位 円)

出動費用 弁 償	災害出動	3時間未満	3,100	訓練、警 戒等出動	3時間 未 満	1,600
		現場活動した場合又は3時間 以上	4,600		3時間 以 上	3,100

### 第3節 機械及び通信施設

#### 1 現有車両（消防本部、消防署）

平成 29. 4. 1 現在

配置	名 称	年式	全長 (m)	全幅 (m)	全高 (m)	総重量 (kg)	総排気量 ( ml )	備 考	
消 防 本 部	指 令 車	H16	4.62	1.69	1.79	1,895	1,990	ステーション ワゴン	
	広 報 1	H16	4.67	1.69	2.20	3,380	1,990	トラック	
	広 報 2	H14	4.99	1.69	2.45	2,550	2,380	ワゴン	
	整備連絡車	H20	3.90	1.67	1.64	1,555	1,380	ステーション ワゴン	
	査 察 車	H20	3.39	1.47	1.87	1,350	650	軽ワンボックス	
消 防 署	本 署	指 揮 1	H18	5.03	1.69	2.78	2,955	2,950	ワンボックス
		本 署 1	H27	7.80	2.49	3.15	14,840	8,860	水Ⅱ型 (水 3,500ℓ )
		本 署 2	H20	6.49	2.27	3.01	7,740	6,400	CD-Ⅱ型 (水 500ℓ )
		本署救助 1	H19	7.98	2.30	3.15	10,760	7,680	救助工作車Ⅱ型
		本署梯子 1	H16	10.97	2.49	3.55	21,850	10,520	45m級梯子車
		本署化学 1	H16	8.30	2.48	3.10	14,000	10,520	化学消防車Ⅲ型
		本署救急 1	H26	5.64	1.90	2.46	3,265	3,490	高規格救急車
		本署救急 2	H28	5.44	1.88	2.55	3,260	2,480	2B型救急車
		本署災対 1	H27	5.88	2.06	2.85	4,530	4,470	マイクロバス
		広 報 3	H20	4.28	1.63	2.03	2,255	1,780	ワンボックス
	大 野	大 野 1	H21	5.74	1.88	2.80	6,265	4,000	CD-I型 (水 600ℓ )
		大野救急 1	H25	5.64	1.90	2.46	3,255	3,490	高規格救急車
		大野災対 1	H16	3.39	1.47	1.98	1,600	650	軽ワンボックス
		支 援 1	H26	10.98	2.49	3.58	21,970	12,910	支援車Ⅰ型
バ ギ ー		H26	3.02	1.52	1.88	780	748	水陸両用車	

配置	名 称	年式	全長 (m)	全幅 (m)	全高 (m)	総重量 (kg)	総排気量 ( ml )	備 考	
消 防 署	海岸	海 岸 1	H29	6.84	2.34	3.43	9,860	5,190	CD-II型 (水槽800ℓ)
		海岸梯子 1	H18	7.25	2.31	3.55	11,380	7,680	1.5m級 屈折梯子車
		海岸救急 1	H28	5.44	1.88	2.55	3,260	2,480	2B型救急車
		海岸災対 1	H26	9.23	2.45	3.49	10,435	6,400	津波・大規模 風水害対策車
		ボート トレーラー	H23	4.30	1.68	0.8	680	—	トレーラー
		水上バイク	H25	3.56	1.23	1.23	387	1,812	
	南原	南 原 1	H24	5.74	1.90	2.99	6,655	4,000	CD-I型 (水槽600ℓ)
		南原災対 1	H17	5.06	1.69	2.32	3,880	3,050	トラック4駆
	神田	神 田 1	H25	5.79	1.94	2.81	6,655	4,000	CD-I型 (水槽600ℓ)
		神田化学 1	H25	9.00	2.48	3.26	18,590	8,860	化学消防車V型
		神田救急 1	H21	5.64	1.90	2.49	3,245	3,490	高規格救急車
		神田災対 1	H17	5.06	1.69	2.32	3,880	3,050	トラック4駆
	金目	金 目 1	H26	5.72	1.93	2.87	6,655	4,000	CD-I型 (水槽600ℓ)
		金目救急 1	H23	5.64	1.90	2.50	3,205	3,490	高規格救急車
		金目災対 1	H17	5.06	1.69	2.32	3,880	3,050	トラック4駆
	旭	旭 1	H23	7.43	2.30	3.08	9,020	6,400	CD-II型
		旭梯子 1	H22	9.68	2.49	3.65	16,700	8,860	2.5m級屈折 梯子ポンプ車
		旭救急 1	H24	5.64	1.90	2.48	3,255	3,490	高規格救急車
		旭災対 1	H17	5.06	1.69	2.32	3,880	3,050	トラック4駆
	土沢	土 沢 1	H18	5.20	1.88	2.60	5,015	4,000	CD-I型
		土沢救急 1	H25	5.64	1.90	2.46	3,255	3,490	高規格救急車
予備車等	消防ポンプ自動車 (CD-I型)		1台						
	消防ポンプ自動車 (CD-II型)		1台						
	高規格救急車		3台						

## 2 現有車両及び小型動力ポンプ状況 (消防団)

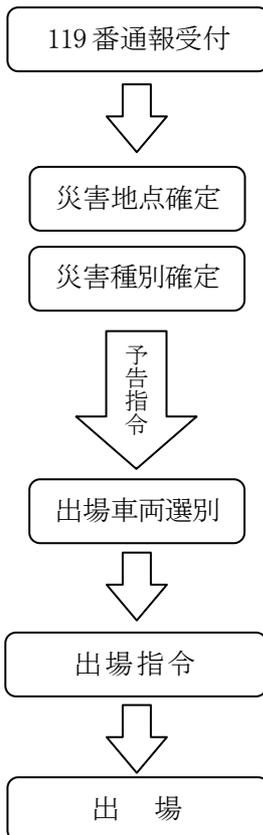
平成 29. 4. 1 現在

車 両					小型動力ポンプ				
配置	製造元	年式	排気量 ( ml )	ポンプ 級 別	配置	製造元	年式	排気量 ( ml )	ポンプ 級 別
団 本 部	スズキ	H25	650	B - 2	—	—	—	—	—
第1分団	日 産	H22	1,990	B - 3	平団1号	トーハツ	H11	554	B - 3
第2分団	日 産	H24	1,990	B - 3	平団2号	トーハツ	H12	617	B - 3
第3分団	日 産	H17	1,990	B - 3	平団3号	トーハツ	H12	617	B - 3
第4分団	いすゞ	H27	2,990	A - 2	平団4号	トーハツ	H13	617	B - 3
第5分団	日 産	H16	1,990	B - 3	平団5号	トーハツ	H11	554	B - 3
第6分団	日 野	H23	4,000	A - 2	平団6号	トーハツ	H16	617	B - 3
第7分団	日 産	H21	1,990	B - 3	平団7号	トーハツ	H22	526	B - 3
第8分団	日 産	H23	1,990	B - 3	平団8号	トーハツ	H20	526	B - 3
第9分団	日 産	H22	1,990	B - 3	平団9号	トーハツ	H11	554	B - 3
第10分団	日 産	H17	1,990	B - 3	平団10号	トーハツ	H10	554	B - 3
第11分団	日 産	H22	1,990	B - 3	平団11号	トーハツ	H19	526	B - 3
第12分団	日 野	H22	4,000	A - 2	平団12号	トーハツ	H22	526	B - 3
第13分団	日 産	H17	1,990	B - 3	平団13号	トーハツ	H22	526	B - 3
第14分団	日 野	H23	4,000	A - 2	平団14号	トーハツ	H22	526	B - 3
第15分団	日 産	H18	1,990	B - 3	平団15号	トーハツ	H22	526	B - 3
第16分団	日 産	H20	2,950	B - 3	平団16号	トーハツ	H22	526	B - 3
第17分団	日 野	H22	4,000	A - 2	平団17号	トーハツ	H10	554	B - 3
第18分団	日 産	H19	1,990	B - 3	平団18号	トーハツ	H22	526	B - 3
第19分団	日 産	H23	1,990	B - 3	平団19号	トーハツ	H17	617	B - 3

### 3 通信施設

情報指令課は、24 時間対応する 3 交替制勤務で、火災、救急、救助等の災害発生による 119 番通報を受信し、消防署本署及び各出張所へ出場指令を行う。また、出場部隊に災害情報や活動支援情報等を提供するとともに、関係機関への連絡及び各種の情報収集を行っている。

#### 消防緊急通信指令システム（119 番通報から出場まで）



119 番通報の受付と同時に通報者の発信位置情報を自動で画面上の地図に表示させ、更に災害発生場所の確定を瞬時に行う「発信地表示システム」を装備し「地図等検索装置」と合わせ、より正確な情報収集を行う。

#### 【指令システム回線構成】

回線種別	数量	備 考
119 番回線（固定・IP・携帯）	16	固定・IP 電話及び携帯電話からの 119 番を受信する回線
専用線	1	関係機関（警察）専用回線
局線	2	指令台から直接送受できる回線
指令回線（音声）	9	署所に音声データを送信する回線
指令回線（データ）	9	署所に指令データを送信する回線

GPS 機能を活用し、各車両を管理する「車両動態位置管理装置」で災害現場に最も近い部隊を自動で判別し、更に「自動出動指定装置」により、災害の種別に応じた必要部隊を迅速かつ正確に選別する。

各署所の車両に装備した「車両端末装置」に災害地点の地図及び災害情報を送信し、出場を指令する。

消防無線により情報の受伝達及び活動の統制等を行う。

#### 消防無線

基地局	1 局
移動局	148 局
内訳	卓上型 8 局、車載型 41、 携帯無線 99（署活無線 57 局、アナログ無線 5 局を含む）
使用周波数	
デジタル無線	統制波 3 波、主運用波 1 波（広域応援時に限り 7 波） 活動波 2 波
アナログ無線	防災相互波 1 波、 署活波 4 波（活動波 2 波、関東共通波及び防災相互波各 1 波）

その他のシステム

災害状況等案内装置	市民からの災害・病院の問い合わせに自動的に音声案内する装置
救急医療情報システム	病院端末機で設定した救急医療情報を運用管理するシステム
気象情報収集装置	各種気象状況を自動観測し、表示及び記録する装置
震度情報システム	地震を自動計測、表示及び県へ報告するシステム
災害情報共有システム	風水害や大地震などの大規模災害時に、庁内及び1市2町で災害情報を共有するシステム
情報共有システム	各種災害情報を各出張所等で共有するシステム
支援情報システム	災害事案の管理、防火対象物の管理、危険物施設の管理、消防水利の管理、届出（煙火上昇や道路工事等）の管理をするシステム
高所監視装置	本庁舎屋上に高倍率の超高感度カメラを設置し、災害状況等を迅速に映し出す装置
電話通報困難者対応設備 (NET119等)	聴覚や言語の障害等により音声通話が困難である方が、FAXや携帯電話・スマートフォン等を活用した119番通報を受信する設備
駆け込み通報装置	各出張所等にカメラ付きインターフォン型の通報装置を設置し、指令センターと通話ができる装置